

令和7年度 第2回 学校評価アンケート結果

羅針盤			評価				現況分析と今後の課題	
評価対象	評価項目	具体的方策	総合	生徒	保護者	教職員		
I 特色ある学校づくりに努めている。	1 特色ある教育活動を行っている。	1 地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。	A 91.4%	A 89.2%	A 94.4%	A 90.3%	「総合的な探究の時間」を柱とした教育活動が県内外で高く評価されるようになってきている。今後も、授業や学校行事などの様々な教育活動を通して、非認知能力の育成を進めていきたい。	
	2 文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。	2 生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。	A 90.9%	A 89.6%	A 92.6%	A 92.1%	保護者および地域社会との連携を密にし、「社会に開かれた学校づくり」を積極的に推進している。今後は、学校・家庭・地域がより一体となり、生徒を包括的に育む体制をさらに深化させていきたい。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。	3 生徒の実態に応じた指導を行っている。	3 学習内容の定着を図るための課題を課している。	A 87.7%	A 89.6%	A 86.0%	B 78.8%	各教科において、多様なツールを活用し、生徒の学習状況を多角的に把握するよう努めている。また、単元テストや定期考査を適切に実施することで、知識・技能の定着と学力の伸長を確認している。今後は、蓄積された学習データの活用をさらに進め、多角的な視点から生徒一人ひとりの学力向上を目指していきたい。	
	4 生徒は確かな学力を身につけている。	4 生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	A 87.9%	A 89.2%	A 86.2%	A 85.6%		
	5 生徒に自主的な学習を喚起している。	5 生徒の主体性や協働性を高める授業や活動を行っている。	A 91.9%	A 91.9%	A 92.0%	A 90.1%	探究学習を通じた協働的な学びの推進と並行し、Monoxerの導入により、隙間時間を活用した能動的な学習態度が醸成されつつある。朝や放課後の校内における自習風景の変化は、本年度の大きな成果と言える。生徒が自らの課題を客観的に把握し、自律的に学習計画を立てて取り組めるようなコーチング的関わりを研究し、意欲的な自学自習を促すプラットフォームの構築を進めていきたい。	
6 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	6 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	A 90.3%	A 91.7%	A 89.2%	A 82.5%			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。	6 組織的・継続的な指導を行っている。	7 生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。	A 84.3%	A 80.4%	A 89.7%	A 84.5%	保護者の理解や協力により、大半の生徒は校則や法令を認識して適切に行動している。一方、画像撮影やSNSの扱い、いじめと受け取られる言動や交通マナー等で心配な点も見受けられる。問題を未然に防げるよう、生徒の様子を複数の教職員で丁寧に見て、工夫しながら指導を重ねたい。	
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。	8 日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。	A 88.7%	A 88.4%	A 88.4%	A 94.1%	環境保健部と養護教諭が連携して健康管理・指導にあたり、担任の先生方の細やかな気遣いによって、事故や怪我の対応だけでなく、生徒の心理的安全を意識した心のケアをより確かなものに行っている。	
	8 生徒が安心安全に学校生活を送れるよう指導や配慮ができています。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	A 91.3%	A 92.7%	A 89.4%	A 90.3%	登下校時の交通安全指導を継続的に実施しているほか、交通委員による交通安全メッセージの作成を行った。実際に発生した事故や、本校自転車利用者のマナーに対する地域の方々のご指摘、自転車への青切符導入等を踏まえ、引き続き命を守る取り組みに注力したい。
		10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	A 86.5%	A 88.0%	A 83.9%	A 92.2%	生徒・保護者・教職員のいずれも数値を伸ばしており、少しずつであるが、教育相談体制が浸透してきているものと考えられる。今後はカウンセラーとの連携を強化するとともに、アンケートの内容の見直しも図るなどして、生徒の悩みをより迅速かつ丁寧に聞く体制を整えたい。
	9 生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。	11 学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	11 学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	A 93.9%	A 93.8%	A 95.4%	A 81.4%	元々高い評価が得られていたが、第1回に比べてさらに満足度が微増しており、文化祭や修学旅行・社会見学等を実際に体験したことで、生徒が主体性を発揮できた様子がうかがえる。それでも教職員はより高い目標に到達することを要求しており、生徒たちの可能性に期待している。
		12 部活動が活発で充実している。	12 部活動が活発で充実している。	A 96.8%	A 96.9%	A 96.8%	A 96.1%	部活動に対する評価は年間を通じて大変高い水準を維持しており、本校の教育について語る上で欠かせない要素となっている。今後も学習とのバランスも図りながら適切な運営に努め、部活動により高められた自己肯定感や自己有用感を他の分野にも波及させていきたい。
13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。		13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。	A 86.4%	A 90.2%	A 80.2%	A 94.1%	群馬県や高崎市のいじめ防止計画を踏まえ、各クラスで実施する「いじめ防止フォーラム」や、生徒会役員と学級委員長による「いじめ防止会議」を設定し、いじめ防止のために自分たちにできることを検討した。次年度はそうした活動の成果をClassi等を通じて保護者と共有したい。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な進路指導を行っている。	14 生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。	A 90.3%	A 93.1%	A 87.5%	B 79.2%	7限特別講座や長期休業中の集中講座は、各学年の意向や生徒の状況を踏まえ、外部講師と学年担当者で実施している。生徒たちの基礎学力向上に繋がる、充実した講座に努めていかないといけない。	
	11 適切な進路情報を提供している。	15 進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。	A 94.4%	A 95.8%	A 92.3%	A 94.1%	外部講師を招き、職業や学問について学び、理解を深める機会を設定するとともに、進学相談会や大学見学会に参加することで、進路に対する視野を広げる機会になった。さらに、県内外の進学相談会や高大連携事業、課外活動にも積極的に参加を促していきたい。	
	12 生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。	16 進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。	A 88.9%	A 93.6%	A 82.3%	A 89.1%	多様な進路希望に合わせ、教科指導や小論文・面接練習指導などで個別指導を徹底している。また、Classiやスタディサプリの活用を通して、個別最適な学習に取り組むことができる。定期試験や模擬試験後の定期的な二者面談も図ってほしい。また、研修等を通して教師の指導スキルの向上に努めていきたい。	
	13 資格取得や検定対策を行っている。	17 検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。	A 91.1%	A 93.3%	A 88.1%	A 91.1%	英語検定や漢字検定、数学検定、文章読解・作成能力検定など、各種検定の受験機会を数多く設定し、検定取得に向けた事前指導やサポートを行っている。今後も取得率を高めるための効果的な対策を検討していく。	
V 開かれた学校づくりに努めている。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。	18 ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。	A 87.5%	A 89.3%	A 85.3%	A 85.4%	学校ホームページを活用し、日々の教育活動や生徒の活躍についてタイムリーな発信に努めてきた。今後は、ターゲット(保護者・地域・中学生)に応じた最適な情報発信のあり方をさらに追求する、ブランド価値のさらなる向上を目指していきたい。	
	15 保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	A 86.6%	A 90.4%	A 81.2%	A 87.1%	紙媒体による配布に加え、Classiを併用したデジタル配信を徹底することで、保護者への情報伝達の確実性が大幅に向上した。今後は、情報の重要度に応じた配信方法の最適化を図り、より伝わりやすく、見落としのない情報提供に努めていきたい。
		20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	A 97.1%	—	A 97.2%	A 96.1%	
		21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	A 88.1%	—	A 88.5%	A 84.3%	

備考:

1) 2025年(令和7年)12月実施

2) 有効回答数-生徒1255名(98.2%)・保護者900名(70.5%)・教職員103名(100%)